

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	◎	旅行代理店（従業員）	・2月は冬季観光のピークとなるため、インバウンドの増加が見込まれる。ただし、12月以降、荒天による航空機の欠航が大幅に増えていることから、天候次第の面がある。
	○	商店街（代表者）	・今後、国による積極財政や減税が実現することになれば、景気は上向くことになる。
	○	一般小売店（経営者）	・衆議院選挙の結果によって、状況は変わってくるものの、景気が良くなることを期待している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・これから冬の大きなイベントが開催されることになる。楽観はできないが、春節の効果もあって、インバウンドは間違いなく増加することになる。ただし、新年度以降については、動向を注視したい。
	○	家電量販店（経営者）	・エアコンの2027年問題や蛍光灯の製造終了の情報が浸透してきたことで、今後、販売量が伸びると期待している。
	○	家電量販店（店員）	・2027年度以降に発売されるエアコンの価格が上がることから、今後、エアコンの販売量が増える見込まれる。客にもそうした情報が少しずつ認知されていることで、問合せが増え始めている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・車両取得時の環境性能割が4月から廃止されることで、今後、新車の販売台数が若干増える見込まれる。
	○	自動車備品販売店（店長）	・3月以降、夏タイヤへの交換シーズンが始まることから、来客数及び売上が増加が期待できる。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・例年、2月はインバウンド需要の増える時期であることから、今後景気が良くなることを期待している。ただし、中国からのインバウンドの動向は気掛かりである。
	○	通信会社（企画担当）	・春商戦において、競合他社が優位になるような要因が、例年よりも少ないことから、大規模商業施設や人の集まる施設への出張販売ブースを今まで以上に増やすことで、前年よりも販売量が増えることを期待している。特に、人口10万人規模の地域で、郊外型の商業施設への出張販売を強化していくことを予定している。
	○	観光名所（従業員）	・インバウンドが増加傾向にあり、個人客や富裕層が増加していることで客単価も上昇している。国内客も、土産や食事にしっかり金を使う客が増えている。これらのことから、災害や悪天候などによる落ち込みが生じない限り、今後も活発な消費行動が期待できる。
	○	美容室（経営者）	・年度末に向けて、景気が上向くことを期待している。
	○	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・今後については、天候が落ち着くことで、安定した運航が可能となることから、輸送量が回復すると期待している。
	○	住宅販売会社（経営者）	・今回実施される衆議院選挙の結果次第では、経済対策が早めに打ち出されることになり、景気回復につながると期待している。
	□	商店街（代表者）	・中心街において、百貨店や大型スーパーがなくなり、小規模店ばかりになってしまったため、今後も来客数の増加は見込めない。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・大雪の影響は雪解けが進むまで続くこととみられることから、4月頃までは現在と同様に厳しい状況が続くことになる。
	□	百貨店（売場主任）	・中間層以下の購買動向が、引き続き伸び悩んでいることから、これまでと同様の景気が続くことになる。
	□	百貨店（販売促進担当）	・2月に大きな冬のイベントを控えているものの、中国からのインバウンドが減少する見込みであることから、観光需要が落ち込むことになる。今後の来道客数は、横ばい又は減少で推移するとみられ、消費も横ばいで推移することになる。
	□	スーパー（店長）	・衆議院選挙で、食料品の消費税が焦点の1つになっていることから、今後、多少は変化が出てくることを期待している。
	□	スーパー（企画担当）	・しばらくは現在と同様の状況が続くことになる。ただし、衆議院選挙の結果によっては、政策が実施されるよりも早く、消費行動が上向くことも考えられる。

<input type="checkbox"/>	スーパー（役員）	・今後、食料品の消費税が引き下げられたとしても、消費者に節約志向が根付いていることから、食料品の購入が増えることは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（従業員）	・物価高が続いているため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・商品の値上げによって、客の生活が厳しくなっていることから、今後しばらくは厳しい状況が続くことになる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・インバウンドの恩恵がなくなり、客の来店頻度も低下していることから、今後、景気が上向くとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（エリア担当）	・今後も、光熱費が高騰している状況は変わらないとみられることから、引き続き衣料品に対する支出が減少することになる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・中古車の販売やサービス部門の工場入庫は堅調に推移しているものの、新車の販売については、厳しい状況が続いている。メーカーの生産体制が変わらない限り、景気は変わらない。世界情勢や物価高などの国内経済の動きも少なからず影響している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・今後については、雪解けの時期を迎えることで、例年と同様に販売量が増えることを期待している。ただし、雪など天候に左右される面は否めない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・受注台数に制限があるため、新車を買いたくても買えない客もいる。そのため、今後も景気は変わらない。ただし、メーカーの生産状況が改善し、受注台数の制限が縮小されることになれば、景気は良くなる。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（役員）	・降雪量などによって、季節商材の販売動向に変化がみられるものの、客の節約志向を変えるような材料は見当たらないことから、今後しばらくは変化のないまま推移する。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・客の高齢化が進んでいるため、今後、当店の利用頻度が低下することが懸念される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔造花〕（店長）	・今後については、春商戦の時期を迎えるものの、物価高の影響が続いていることから、これまでの傾向と余り変化のないまま推移する。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・ホテルの予約状況は順調であるものの、飲食店への影響度合いは判断に難しい面がある。地方のホテルは混んでいる日が多いものの、従業員が減少していることで、客室の稼働を減らすなどしている。また、限られた人数でやり繰りしているため、フロントや飲食部門のサービスレベルが低下しており、今後、利用客が減ることも懸念される。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・衆議院選挙の結果次第の面はあるものの、物価高が続いていることから、景気がすぐに好転することは考えにくい。そのため、今後についても、現状と変わらずに推移することになる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・3月頭までは冬季観光シーズンとなることから、インバウンドも国内客も堅調に推移すると見込まれる。ただし、それ以降は閑散期となるため、集客が落ち込むことになる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・冬のイベント期間を中心に、旺盛な需要がみられるものの、それ以外の時期は予約に大きな伸びがみられない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・物価高や円安に加え、燃油サーチャージも上昇傾向にあることから、今後の販売量の増加は余り期待できない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・今後も雪のある時期はタクシーの利用が多いと見込まれる。また、3月26日まで冬季割増運賃が適用されるため、それまでは1月と同じように、売上的大幅増が期待できる。ただし、雪解けが進む4月以降の状況が心配である。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・依然として乗務員不足が続いていることから、今後も景気は余り変わらない。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・来客数や市況価格の動向から、今後も大きな変動はないと見込まれる。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・1月に入り、来客数や売上の動きが落ち着いてきたことから、今後も、良くも悪くもない状況が続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・ここ数年、季節要因による売上の増減はほとんどみられないことから、景気が悪くなることは考えにくいものの、良くなるような要素も見当たらない。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・急きょ衆議院選挙が行われることになったため、地元を離れることができなくなった客も多く、今後の大幅な売上減少が見込まれる。寒気や大雪の影響も大きいことから、今後の動向が不安である。

	▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	・今後、日用品の値上げがますます進むとみられることから、生活の負担感が増し、旅行需要に影響が出てくることが懸念される。また、ホテルや航空券、その他の旅行関連の商品にも値上げの波が来ている。以前と比べて、旅行に掛かる金が増えていることから、旅行中の食事や買物がシビアになることが懸念される。
	▲	スーパー（店長）	・食料品の消費税引下げの動きが、今後の景気を左右することになる。
	▲	スーパー（店長）	・衆議院選挙の結果によって、今後の景気が変わってくることになる。ただし、家計において、光熱費の占めるウエイトがかなり高くなっていることから、今後の景気を上向かせるのは難しいとみられる。
	▲	スーパー（企画担当）	・1月に入ってから、北日本を中心に大雪が続いたことで、物流や交通網に混乱が生じている。客の移動が困難になっているだけでなく、除雪代などの負担が、法人、個人にかかわらず増して、一般消費に与えるマイナスの影響が大きくなっている。このため、今後の景気がやや悪くなることが懸念される。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・衆議院選挙が始まり、各党から食料品の消費税引下げの話が出ているものの、実際に行われるのは、早くても年内であり、まだ先のことになる。今後については、将来の消費税引下げを見越して、できるだけ金を使わないようにする動きが出てくることが懸念される。そのため、今後については、客の買い控えが進み、食料品の動きが一時的に落ち込むことになる。
	▲	旅行代理店（従業員）	・地元客については、今後も例年並みの来客数を維持できるとみられるものの、中国からのインバウンドによる売上が減少しているため、今後の景気はやや悪くなる。中国以外からの新規客を獲得することで、少しでも落ち込みをカバーできればと考えている。
	▲	旅行代理店（従業員）	・衆議院選挙の影響により、客の旅行控えがみられ始めている。予約済み案件のキャンセルも生じていることから、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	タクシー運転手	・選挙が行われる月は、夜の飲食街への人出が減る傾向にあることから、今後の景気はやや悪くなる。また、今回の衆議院選挙では、国民負担の軽減を掲げる政党が多くみられるものの、実現には懐疑的な見方も多いことから、景気回復にはつながらない。
	▲	タクシー運転手	・前年12月に料金改定があったものの、これから来客数の減少する時期となるため、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	タクシー運転手	・政治の動きが落ち着かない限り、景気は回復しないとみられる。
	▲	美容室（経営者）	・物価対策として、減税など何らかの対策が行われない限り、景気が良くなることは考えにくい。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・マンション価格の高騰が続いている一方、客の所得の伸びが価格上昇に追い付いていないことから、分譲マンション市場は縮小傾向にあり、今後の景気はやや悪くなる。こうした状況を打破するための政策が、早期に行われることを期待している。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・日銀の政策金利は、一旦据え置かれたものの、衆議院選挙後の政局によって、状況が変わることも考えられる。また、国の物価対策にどれほどの効果があるか、まだ不透明なことから、今後の景気はやや悪くなる。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・連日の大雪により、除排雪が追い付かず、鉄道の運休や遅れが続いていることで、売上が大幅に減少している。今後も雪の影響が続くとみられるため、景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・円安が進行するとみられることから、今後の景気は悪くなる。
企業 動向 関連	×	衣料品専門店（店長）	・例年、新生活のスーツ需要が高まり始める時期であるものの、前年と比べても下見客が多く、即決での購入がみられない状況となっている。支出を気にして、商品をシビアに選ぶ傾向が強くなっていることから、今後の景気は悪くなる。
	◎	—	—
	○	農林水産業（経営者）	・3月以降、長期保存したりんごの出荷量が増えてくることを期待している。

(北海道)	○	建設業（経営者）	・一部ではあるものの、投資に積極的な様子がうかがえることから、見積依頼の増加が期待できる。
	○	建設業（役員）	・衆議院選挙で政権政党が勝利することになれば、積極財政により、来年度の公共土木工事の新規受注が増えると期待できる。民間建築工事は、次年度繰越工事を複数抱えている。これらのことから、フル稼働状態が当面続くことになる。
	○	輸送業（支店長）	・大雪の影響で新規案件の相談が増加している。また、春先からの案件も増加する見込みであるため、今後の景気はやや良くなる。
	○	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・現在の建設投資の受注状況を踏まえると、国内建設投資は、引き続き堅調にする見込みである。
	□	食料品製造業（従業員）	・この先の受注見込みに大きな変化はないことから、今後も景気は変わらない。
	□	食料品製造業（従業員）	・販売促進などの計画はあるものの、今後、大幅に販売量が伸びることは考えにくい。
	□	金属製品製造業（従業員）	・政治が安定していない状況にあることから、今後の景気がどうなるか予測しづらい。
	□	建設業（従業員）	・人材不足、工事費高騰はしばらく改善されないと見込まれるため、今後も現状維持で推移することになる。
	□	金融業（従業員）	・ガソリンの暫定税率廃止、電気・ガス料金支援などの政策効果に期待している。ただし、金利上昇や円安の影響による物価上昇の動きが、消費者マインドを押し下げることが懸念している。
	□	広告代理店（従業員）	・今後、特に大きなイベントもなく、景気変動するような要素が見当たらない。
	□	司法書士	・衆議院選挙で各党や候補者が消費税引下げなどを掲げているものの、実際に実行されるかは不透明なことから、今後しばらくは現状と変わらないまま推移する。
	□	コピーサービス業（従業員）	・今回の衆議院選挙の結果によって、影響が出てくると考える経営者もみられるものの、全体的には、今後も大きな変化がないまま推移することになる。
	□	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・現在の状況が大きく変わるような要素が見当たらないことから、今後も現状維持で推移することになる。
	▲	食料品製造業（従業員）	・現状から、今後も横ばいに近い状態で推移するとみられるものの、例年、中国からのインバウンドが多数訪れていた春節の落ち込みが大きくなると見込まれることから、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	司法書士	・冬季は、雪の影響で移動時間が2倍以上掛かり、その分ガソリン代もかさむことから、タイムパフォーマンス及びコストパフォーマンスが悪くなる。通年と同じ報酬額では、利益率が低下することになる。
	▲	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・受注がなかなか確定しない状況にあり、今後の受注量が減る懸念がある。
	×	—	—
(北海道)	雇用 関連	◎	—
		○	—
		□	人材派遣会社（社員） ・当社の社員教育部門への依頼が増加しており、企業が業績の維持に向けて、人材のスキルアップを図っていることがうかがえる。企業の経営戦略が、新規人材を獲得するまで、現有戦力を強化する方針に変わりつつある。
		□	求人情報誌製作会社（編集者） ・衆議院選挙の結果で、何かが変わる可能性があるものの、採用意欲を上向かせるような影響までは考えにくい。
		□	求人情報誌製作会社（編集者） ・当地区は観光地であり、中国からのインバウンドが減少していることで、観光関連やサービス業を中心に、来客数が落ち込んでいる。今後もこうした状況は続くと思われる。
		□	職業安定所（職員） ・新規求人数の減少が続いているものの、それが景気の悪化に直結しているとはいえない状況にある。そのため、今後も景気は変わらない。

	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・ 当地の12月の新規求人数は前年を5.7%下回り、2か月連続での減少となった。一方、月間有効求人数は、2か月連続で前年を下回った。産業や業種によってその度合いは異なっているものの、今後の物価上昇の状況によっては、経済活動、消費行動が先を見通せない状態となることが懸念される。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・ 人手不足が続いているという企業の声を聞く一方で、中小零細企業を中心に、物価高や人件費上昇を要因とした求人の出し控えもみられる。このため、今後の景気動向を判断することが難しい状況にある。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・ 求人環境が大きく悪化することはないものの、今後の景気回復までは期待できない。
	▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・ 例年であれば、春先に向けて、求人数が増え始める時期であるものの、今年はまだそうした動きがみられない。物価高や大雪の影響で、経済がやや停滞することを懸念している。
	▲	職業安定所（職員）	・ 中国からのインバウンドについて、団体客の減少を危惧する声が聞こえる。ただし、個人客に影響はみられず、台湾や韓国などからのインバウンドや国内観光客は堅調である。今のところ、大きな影響はみられないものの、今後の動向が上向くことまでは考えにくい。
	×	—	—